

事業 番号	事業名	内 容	対象外 項目番号
	清掃総務運営事務事業		
1	虫達スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業	両施設の維持管理	-
2	清掃総務事務事業	美化センター運営事務	②
3	美化センター維持管理事業	管理棟の維持管理及び付属施設の維持管理	-
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業	し尿処理手数料、ごみ処理手数料等の賦課徴収事務	-
5	ごみ収集運搬事業	可燃ごみ、資源ごみ等収集運搬、剪定枝収集運搬業務	-
	ごみ処理事業		
6	リサイクルセンター運営管理事業	粗大ごみ等の廃棄物運搬・処理業務、公用車の維持管理	⑤
7	し尿収集運搬事業	汲み取りトイレ及び仮設トイレ等のし尿の収集運搬業務	-
8	し尿処理事業	し尿処理施設の維持管理	-
9	し尿処理施設維持整備事業	し尿処理施設の機能維持のための機器の補修整備及び定期点検	③

令和元年度事務事業一覧表

事業 番号	事業名	持続可能な開発目標(SDGs)																
		G1	G2	G3	G4	G5	G6	G7	G8	G9	G10	G11	G12	G13	G14	G15	G16	G17
	清掃総務運営事務事業																	
1	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業											○				○		
2	清掃総務事務事業											○				○		
3	美化センター維持管理事業											○				○		
4	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業											○				○		
5	ごみ収集運搬事業											○				○		
	ごみ処理事業																	
6	リサイクルセンター運営管理事業											○				○		
7	し尿収集運搬事業											○				○		
8	し尿処理事業											○				○		
9	し尿処理施設維持整備事業											○				○		

予算事業名	清掃総務運営事務事業								事業番号	04 - 15 - 01		
細分事業名	虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場管理事業								シート作成日	令和元年7月31日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	02	事業開始年度	—
	事業終了予定年度											—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	—									
		部門	—									
		大施策	—									
		中施策	—									
		施策目標	—									
	根拠法令・条例等		—									
	個別計画等		—									
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—			実施項目名	—				
	目的 (何のために)		虫窪スポーツ広場及び西久保ゲートボール場の適正な維持管理を行う。									
	対象 (誰を・何を)		虫窪地区住民・西久保地区住民									
内容		ごみ焼却処理施設の建設、し尿旧投棄場跡地の地元還元施設として整備した両施設の管理運営を行う。										

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり				
			単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	1,481	1,482	1,381	1,476
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		1,481	1,482	1,381	1,476
	職員人数 (概算職員数)		人	0.11	0.11	0.11	0.11
	人件費計 (b)		千円	635	621	443	477
総事業費 (a) + (b)		千円	2,116	2,103	1,824	1,953	
事業費内訳 (千円) R 01 年度		○虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場水道料 19千円 ○虫窪スポーツ広場・西久保ゲートボール場草刈委託 780千円 ○用地借上料 677千円					

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	利用団体数 (虫窪及び西久保)	団体	—	11	11	11	11
	活動指標 (活動量)	利用日数 (虫窪及び西久保)	日	計画値	100	100	100	100
				実績値	105	89	—	—
	成果指標 (達成度等)	利用率 (利用日数/365)	%	目標値	27	27	27	27
				実績値	29	24	—	—
達成率				107.4%	90.4%	—	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	② 廃止・休止による影響は小さいがある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	④ 成果を計ることはなじまない		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はあるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	利用促進が広く図られるよう、ルールを設定した。廃棄物処理施設に関する地元との話し合いを行った。			
課題	地元の町民に利用される施設への改善（トイレの更新など）が必要である。スポーツ広場、公園等との一元管理することにより効率化を図ることを検討する必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	H30年度	維持	H29年度	—	H28年度	—	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、地元還元施設として維持管理していくべきである。							
	課題解決への視点	地域住民との合意が必要。								
	着手する事項	R01年度	地元への要望確認、関係課との調整。							
		R02年度	地元への要望確認、関係課との調整。老朽化したトイレの更新。							
	R01年度改善事項	引き続き地元還元施設として維持管理すべく、地元住民と良好な関係を築いた。地元要望に応え、虫窪スポーツ広場に設置してあるトイレの更新予算を計上した。								
	記入日									
	令和2年2月26日									

予算事業名	美化センター維持管理事業				事業番号	04 - 15 - 03						
細分事業名	—				シート作成日	令和元年11月8日						
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	03	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	—			
		部門	—			
		大施策	—			
		中施策	—			
		施策目標	—			
	根拠法令・条例等		—			
	個別計画等		—			
	行政経営プラン 実施計画事業		実施番号	—	実施項目名	—
	目的 (何のために)		美化センター管理棟及びその付属施設の維持管理			
	対象 (誰を・何を)		し尿、ごみ及び動物等の処理を依頼する町民等			
内容		美化センター管理棟の維持管理及びその付属施設の保守点検、清掃等を実施する。				

事業実施 (Do)	執行体制		職員実施				
			単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	1,472	1,514	512	606
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
	一般財源			1,472	1,514	512	611
	職員人数 (概算職員数)		人	0.50	0.50	0.50	0.50
	人件費計 (b)		千円		2,822	2,407	2,604
総事業費 (a) + (b)		千円	1,472	4,336	2,919	3,210	
事業費内訳 (千円) R 01 年度		○消耗品 5千円 ○燃料費 46千円 ○光熱水費 42千円 ○修繕料 123千円 ○通信運搬費 330千円 ○手数料 60千円					

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			—			—		
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	開庁日数	日	—	310	310	310	310
	活動指標 (活動量)	事業費	日	計画値	1,362	729	606	606
				実績値	1,514	512	—	—
	成果指標 (達成度等)	床面積あたりの事業費 (事業費/447㎡)	日	目標値	3,047	1,631	1,356	1,356
実績値				3,385	3,385	—	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	④ 成果を計ることはなじまない		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はいるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	施設の適正な維持管理を図り、実施した。			
課題	施設及び場内の樹木等の維持管理費がかかる。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	H30年度	維持	H29年度	—	H28年度	—	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、維持管理していくべきである。							
	課題解決への視点	適切な維持管理を図る。								
	着手する事項	R01年度	美化センター管理棟内事務室、照明器具交換修繕							
		R02年度	美化センター管理棟内、トイレの雨漏り修繕							
	R01年度改善事項	美化センター管理棟内事務室の老朽化した照明を一部LED化した。管理棟内トイレのバルブ故障の修繕を実施した。								
	記入日									
	令和2年2月12日									

予算事業名	一般廃棄物処理手数料賦課徴収事業								事業番号	04 - 15 - 04		
細分事業名	—								シート作成日	令和元年7月31日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	01	事業	04	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

事業計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—							
			部門	—							
			大施策	—							
			中施策	—							
			施策目標	—							
	根拠法令・条例等			大磯町廃棄物の処理及び清掃に関する条例							
	個別計画等			—							
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—			実施項目名	—		
	目的 (何のために)			町民生活の公衆衛生の向上							
	対象 (誰を・何を)			し尿、ごみ及び動物等の処理を依頼する町民等							
内容			し尿、ごみ及び動物の死体等の処理手数料の賦課徴収を行う。								

事業実施 (Do)	執行体制		職員実施					
	事業費	財源内訳	単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)	
			直接事業費 (a)	千円	609	632	608	818
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
			その他					
	一般財源	609	632		608	818		
	職員人数 (概算職員数)	人	0.36	0.66	0.66	0.76		
	人件費計 (b)	千円	2,078	3,724	2,034	2,769		
総事業費 (a) + (b)	千円	2,687	4,356	2,642	3,587			
事業費内訳 (千円) R 01 年度		○賦課徴収事務消耗品代 8千円 ○賦課徴収事務印刷製本代 605千円 ○賦課徴収事務手数料 205千円						

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	汲み取り賦課件数	件	—	223	220	210	210
	活動指標 (活動量)	汲み取り賦課件数	件	計画値	213	220	220	220
				実績値	223	220	—	—
	成果指標 (達成度等)	徴収率 (該当する現年度)	%	目標値	99	100	100	100
				実績値	100	100	—	—
達成率				101.0%	100.0%	—	—	
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	② ない		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき定期的に訪問徴収を行った。			
課題	町外への転出者等に対する対応の検討が必要である。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	H30年度	維持	H29年度	—	H28年度	—	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、適正に賦課徴収を行うべきである。							
	課題解決への視点	情報の収集を適正に行い、迅速に対応できるような体制を整える。								
	着手する事項	R01年度	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、訪問徴収等を実施する。							
		R02年度	美化センター各種手数料滞納整理実施計画に基づき、訪問徴収等を実施する。							
	R01年度改善事項	し尿処理手数料の正確、かつ公平な賦課事業を行うために登録対象世帯に対して現況届を送付し、必要な世帯に対して現況調査を行うとともに、未納者に対する訪問徴収等を実施した。								
	記入日									
	令和2年2月25日									

予算事業名	ごみ収集運搬事業							事業番号	04 - 15 - 05		
細分事業名	—							シート作成日	令和元年7月31日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	02	事業	01	
	事業開始年度 昭和53年度（不燃ごみ） 昭和60年度（可燃ごみ）										
事業終了予定年度 —											
部等名				課等名				係名			
産業環境部				美化センター				施設係			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	—									
		部門	—									
		大施策	—									
		中施策	—									
		施策目標	—									
	事業の概要	根拠法令・条例等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
		個別計画等		大磯町分別収集計画・大磯町一般廃棄物処理基本計画								
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—				
		目的 (何のために)		排出された廃棄物を適正に収集することにより、衛生的な生活環境の保全を図る。								
		対象 (誰を・何を)		全町民								
内容		一般家庭から排出される可燃ごみ、不燃ごみ、資源ごみ等を委託により適正かつ効率的に収集する。										

事業実施 (Do)	執行体制		全部委託				
			単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	222,718	220,903	184,194	190,400
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		222,718	220,903	184,194	190,400
	職員人数 (概算職員数)		人	0.80	0.70	0.70	0.70
	人件費計 (b)		千円	4,775	4,618	3,805	4,123
総事業費 (a) + (b)		千円	227,493	225,521	187,999	194,523	
事業費内訳 (千円) R 01 年度		○ごみ収集運搬委託料 190,400千円					

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	人口 (各年8/1時点 R01は7/1時点)	人	—	31,452	31,506	31,370	31,982
	活動指標 (活動量)	委託収集量	t	計画値	8,527	8,288	8,004	8,000
				実績値	8,449	8,302	—	—
	成果指標 (達成度等)	1 t 当たりの収集経費 (直接事業費/委託収集量)	円	目標値	26,000	22,300	23,800	23,800
実績値				26,100	22,645	—	—	
達成率			100.4%	101.5%	—	—		
定性的成果		—						

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-① 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある	
		過去の外部評価における指摘事項	—		
		主な改善経過 (過去4年間)	収集事業者と毎月定例会を行い、町民サービス向上に向け、意見交換等を行っている。		
	課題	平成30年度の大磯町リサイクルセンター稼働後、可燃ごみ、ペットボトル、不燃ごみが大磯町美化センターへ搬入となっている。効率的な収集体制の見直し、また、家庭系ごみの戸別収集・有料化などの収集方法の検討が必要となる。			

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	H30年度	維持	H29年度	—	H28年度	—	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、町内の衛生的な生活環境の保全を図るべきである。							
		課題解決への視点	現況の収集体制の把握とごみの戸別収集、有料化など収集方法について、住民目線も考慮した見直しをする。							
	着手する事項	R01年度	リサイクルセンター稼働に伴い、運用面を踏まえ効率的な収集運搬体制の再構築を図るとともに、家庭系ごみの戸別収集や有料化の検討などごみ収集方法の見直し検討を行う。							
		R02年度	リサイクルセンター稼働に伴い、運用面を踏まえ効率的な収集運搬体制の再構築を図るとともに、家庭系ごみの戸別収集や有料化の検討などごみ収集方法の見直し検討を行う。							
		R01年度改善事項	各施設へ効率良くごみの搬入を行いつつ、家庭系ごみの戸別収集や有料化の検討などごみ収集方法見直しのため、収集業者のヒアリング及び他自治体に聞き取り調査を行った。							
		記入日								
		令和2年2月27日								

予算事業名	し尿収集運搬事業							事業番号	04 - 15 - 07		
細分事業名	—							シート作成日	令和元年7月31日		
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	01	
	事業開始年度										—
事業終了予定年度										—	
部等名				課等名				係名			
産業環境部				美化センター				施設係			

事業計画 (Plan)	総合計画	柱	—								
		部門	—								
		大施策	—								
		中施策	—								
		施策目標	—								
	事業の概要	根拠法令・条例等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律								
		個別計画等	—								
		行政経営プラン 実施計画事業	実施番号	—			実施項目名	—			
		目的 (何のために)	し尿を適正に収集することにより、公衆衛生の向上を図る。								
		対象 (誰を・何を)	汲み取り式便所の町民、事業者等								
内容	一般家庭及び事業者から排出されるし尿を委託により適性かつ効率的に収集する。										

事業実施 (Do)	執行体制		一部委託あり					
	事業費	財源内訳	単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)	
			直接事業費 (a)	千円	41,854	41,777	41,777	41,850
			国庫支出金	千円				
			県支出金					
			起債					
		その他	2,454		2,370	2,210	2,487	
	一般財源	39,400	39,430	39,567	39,363			
	職員人数 (概算職員数)	人	0.50	0.55	0.55	0.65		
	人件費計 (b)	千円	2,886	5,418	2,368	3,146		
総事業費 (a) + (b)	千円	44,740	47,195	44,145	44,996			
事業費内訳 (千円) R 01 年度	○し尿収集運搬委託料 41,850千円							

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名			目標値		
			—			—		
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	汲み取り世帯数・事業者数	世帯	—	223	183	220	220
	活動指標 (活動量)	し尿収集量	kℓ	計画値	430	430	430	430
				実績値	471	403	—	—
	成果指標 (達成度等)	1kℓ当たりの処理経費 (直接事業費/し尿収集量)	円	目標値	97,200	97,209	97,326	97,326
実績値				88,699	103,665	—	—	
達成率	91.3%	106.6%	—	—				
定性的成果	—							

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	A. 負担導入済	A-① 既に受益者負担を求めているが、今後、その額や対象等を再検討する必要がある	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
主な改善経過(過去4年間)	—				
課題	公共下水道整備の推進に伴い、対象世帯が減少傾向にあり、年々事業が縮小されている。し尿収集運搬事業の委託化、安定化を図る必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	H30年度	維持	H29年度	—	H28年度	—	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、町内の衛生的な生活環境の保全を図るべきである。							
	課題解決への視点	公共下水道整備状況を注視し、収集事業者の視点も考慮し対応すべきである。								
	着手する事項	R01年度	—							
		R02年度	—							
	R01年度改善事項	引き続き適正かつ迅速に収集できるよう収集事業者と調整を行い、町内の衛生的な生活環境の保全を図った。								
	記入日									
	令和2年2月26日									

予算事業名	し尿処理事業							事業番号	04 - 15 - 08			
細分事業名	—							シート作成日	令和元年7月31日			
予算科目	会計	01	款	04	項	02	目	03	事業	02	事業開始年度	—
											事業終了予定年度	—
部等名				課等名				係名				
産業環境部				美化センター				施設係				

事業計画 (Plan)	総合計画	P	柱	—							
			部門	—							
			大施策	—							
			中施策	—							
			施策目標	—							
	根拠法令・条例等			廃棄物の処理及び清掃に関する法律							
	個別計画等			大磯町一般廃棄物処理基本計画							
	行政経営プラン 実施計画事業			実施番号	—			実施項目名	—		
	目的 (何のために)			し尿及び浄化槽汚泥を適正に処理することにより、公衆衛生の向上を図る。							
	対象 (誰を・何を)			し尿及び浄化槽世帯、事務所							
内容			町内より収集されたし尿及び浄化槽汚泥をし尿処理施設において、適正に中間処理を行うとともに、施設の運転及び維持管理を実施する。また、中間処理により発生した汚泥等については、平塚市ごみ焼却場で処理する。								

事業実施 (Do)	執行体制		全部委託				
			単位	H28年度 (決算)	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)
	直接事業費 (a)		千円	59,883	59,661	58,546	61,585
	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金					
		起債					
		その他		27,791	31,462	39,353	0
		一般財源		32,192	28,199	19,193	61,585
	職員人数 (概算職員数)		人	0.30	0.20	0.20	0.45
	人件費計 (b)		千円	1,732	5,418	932	2,480
総事業費 (a) + (b)		千円	61,615	65,079	59,478	64,065	
事業費内訳 (千円) R01年度		○消耗品 11,000千円 ○光熱水費 20,340千円 ○修繕料 1,000千円 ○手数料 2,156千円 ○委託料 26,792千円 ○使用料及び賃借料 217千円 ○原材料費 80千円					

指標値	本事業が属する総合計画の中施策の成果指標		指標名				目標値	
			—				—	
	指標名		単位	項目	H29年度 (決算)	H30年度 (決算)	R01年度 (予算)	R02年度 (目標)
	対象指標 (対象者数等)	し尿及び浄化槽人口	人	—	12,050	12,000	12,000	12,000
	活動指標 (活動量)	し尿及び浄化槽汚泥量	kg	計画値	7,500	7,400	7,400	7,400
				実績値	7,456	6,733	—	—
	成果指標 (達成度等)	1 t 当たりの処理経費 (直接事業費/し尿及び浄化槽汚泥量)	円	目標値	8,371	8,834	8,322	8,322
				実績値	8,002	8,695	—	—
				達成率	95.6%	98.4%	—	—
	定性的成果		—					

事務事業の評価 (Check)	妥当性	事業の実施に対する町民ニーズはあるか	② 変わらずにある		
		事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	③ 廃止・休止による影響は大きくある		
		今後も町が実施すべき事業か	⑤ 代替となる他機関でのサービスがないため、今後も町が実施する必要がある		
	効率性	事業費に削減の余地はないか	① ある		
		関連・類似事業との統合はできないか	③ 統合できない		
	有効性	事業の成果は得られているか	③ 十分な成果が出ている		
		事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	④ 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している		
	公平性	受益者負担は公平・公正か	B. 負担未導入	B-② 受益者はあるが、今後も公費により全額町が負担すべきものである	
	過去の外部評価における指摘事項	—			
	主な改善経過 (過去4年間)	町現業職員の減により、し尿処理施設の運転管理を全面委託とした。			
課題	施設の老朽化が進んでいる中、ごみ処理広域化で平塚市のし尿・浄化槽汚泥の受入れを行っており、設備を適正に維持管理するためには整備計画を立て、計画的に整備していく必要がある。				

取組内容の改善 (Action)	今後の方向性の判断	区分	維持	H30年度	維持	H29年度	—	H28年度	—	
		理由	引き続き事業の継続が必要であり、し尿等を適正に処理すべきである。							
	課題解決への視点	新し尿処理施設の整備等、今後想定される事項について整理を行い、対処していく必要がある。								
	着手する事項	R01年度	既存施設の適正管理や設備等について、平塚市との施設の処理規模や公共下水道の進捗を踏まえ、引き続き検討・調整を行う。							
		R02年度	既存施設の適正管理や設備等について、平塚市との施設の処理規模や公共下水道の進捗を踏まえ、引き続き検討・調整を行う。							
	R01年度改善事項	引き続きし尿処理施設が適正に稼働できるよう維持整備を行い、平塚市や公共下水道の進捗を踏まえ、新規し尿処理施設への検討・調整を行った。								
	記入日									
	令和2年2月26日									